

令和8年度クマ春期管理捕獲効果検証業務委託 仕様書

1 目的

本県では「令和7年度新潟県指定管理鳥獣捕獲等事業（春期管理捕獲等事業）」として、県内15市町村において令和8年3月～5月にツキノワグマの春期管理捕獲を実施するとともに、捕獲実施地域等において自動撮影カメラを120台設置し、捕獲後のクマの出没状況を撮影している。

本業務は、この春期管理捕獲等事業について、ツキノワグマの捕獲データ及び自動撮影カメラによる撮影頻度指数（RAI）等を用いて、出猟及び捕獲がツキノワグマの人里への出没抑制に与えた効果等を分析・検証し、今後の効果的な捕獲事業に資することを目的とする。

2 委託期間

契約締結の日から令和9年3月19日（金）まで

3 業務内容

（1）業務打合せ

業務を実施するに当たり、県と受託者は打合せ（業務開始、中間、納品時）を行うこととし、打合せに要する費用は受託者が負担すること。

なお、業務打合せ（業務開始）は、契約後速やかに、業務計画書を作成した上で実施すること。業務打合せ（中間）は、令和9年1月上旬に、その時点の分析・検証の状況等を記載した中間報告書を作成した上で実施すること。

（2）捕獲・出没状況の整理

県が提供するデータ等を用いて、GISを活用し、ツキノワグマの捕獲状況や捕獲事業実施地域における春期管理捕獲実施前後の出没状況、捕獲事業実施地域と未実施地域の出没状況を整理すること。

なお、県が提供するデータは次のとおりであり、この他の必要なデータについては県と受託者が協議の上、県から提供する。

- ・春期管理捕獲等事業の捕獲データ（捕獲日、捕獲場所（メッシュ番号）、捕獲個体情報（性別、体長、体重等））：約40頭分
- ・出猟日報（出猟人日、出猟状況、ツキノワグマの確認状況）：約940人日（日報約160日）分
- ・自動撮影カメラデータ（設置位置（緯度経度）、RAI）：120台分
- ・昨年度及び今年度の目撃・痕跡データ（件数、位置など）、捕獲データ（捕獲日、捕獲場所（メッシュ番号）、捕獲個体情報（性別、体長、体重等））、生息状況調査自動撮影カメラデータ（各年度120台の設置位置（緯度経度）、RAI）

(3) 捕獲事業による出沒抑制効果の分析・検証

(2) で整理したGISデータや気象データ（気温、積雪等）、堅果類の豊凶状況などを踏まえ、捕獲事業実施前後の出沒状況进行分析し、出猟及び捕獲による人里への出沒抑制の効果を検証すること。

(4) 今後のクマの管理・効果的な捕獲事業に向けた提案

(3) の分析・検証結果を踏まえ、今後のクマの管理や効果的な捕獲事業に向け、重点的に春期の捕獲事業を実施すべき地域や時期等を提案すること。

4 委託業務完了報告書（成果品）及び納品期限

(1) 成果品

- ・委託業務完了報告書（電子データ：PDF、Word）
- ・GISデータ一式（シェープファイル等）

(2) 納品期限

令和9年3月19日（金）まで

5 その他

- (1) 委託業務の実施に当たっては、県と必要な協議及び打合せを十分に行い、その指示に従って業務を進めるとともに、大学等の有識者に適宜助言を求め、より精度の高い調査結果となるよう努めること。なお、助言を求める有識者は県と協議の上で決定し、必要な費用は受託者が負担すること。
- (2) 報告、提出、連絡等において、セキュリティ上、フリーメールの使用は認めない。
- (3) 受託者は、当該委託事業に関する書類及び帳簿を事業終了後5年間保存しておくこと。
- (4) 本仕様書に疑義が生じた時又は本仕様書によりがたい事由が生じた時は、県と受託者が協議し、措置を決定するものとする。
- (5) 本業務で得られた成果の無断での転用を禁止する。